

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ 那珂支援教室		
○保護者評価実施期間	R7年2月3日		～ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	R7年 2月 3日		～ R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ダンスのインストラクターが週2回指導にあたっている。	ダンスは支援の主軸にもなっており、インストラクターによる指導を週1回から2回に増やしたことにより利用者様のダンスのレベルが高くなってきた。また利用日を増やしたいという利用者様のも多くなった。	インストラクターの指導法を支援員も身に付けるようにし、支援の幅を広げていきたい。
2	利用定員や利用者様の状態に応じて、職員の配置数を考えている。	支援員が不足の時はグループ内の他の教室にヘルプをお願いしている。 従業員の不足に対して募集・採用を行っている。	配置数としては、確保できているが、年齢の若いスタッフが少ない。採用にあたっては、研修など質を高める取り組みも必要。
3	ダンス・手話を練習しているので、地域のイベントに呼ばれ、発表する機会を得られた。できるだけ参加するようにしてきた。	できるだけ参加するようにし、発表の場を増やすことで、自信をつけさせるようにしたり、発表するよるこびを持てるようにしてきた。また、QOLの広報にもつながると考えています。	地域のお祭りやイベントにできるだけ参加するようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちと活動する機会がほとんどない。	QOLグループの他の教室と交流することが多いので、他の事業所などと交流を広げる努力が少なかった。また、他と交流する時間的余裕も少ない。	地域の学校や学童クラブなどと連携を取りながら、ともに活動したり、情報を交換する機会をつくっていく。
2	若い指導員が少ないという声がある。	募集をかけても若い人の応募が少ない。都市部から通勤距離が遠いのではないかと。学校や保育所などを退職した人が多いので年齢が高くなってしまふ。	若い支援員は少なくとも経験者が多いので、広い視野に立った、質の高い支援が可能であると思う。ダンスにおいては、インストラクターの指導を入れ、対応していく。
3	SNSなどでの発信を増やしていく。	発信に慣れている職員が少なく、できる職員に任せてしまっていた。	SNSなどでの発信ができるように研修を進め、発信に慣れていく。順番を決めてやることで、多様な内容が発信できると思う。